

SAP(Sanbe Adventure Program)

～ 集団・人間関係づくりトレーニング ～

PA(プロジェクトアドベンチャー)の手法、考え方を参考にして行う、個と集団を望ましい発達へと導く集団・人間関係づくりトレーニングです。

アクティビティ体験を通し、楽しく学び、自分のあり方・グループを考えるアドベンチャープログラムです。クラス・グループの信頼と絆を深める大きなきっかけとなります。



活動のねらい・期待される効果

体験学習法の一つである「プロジェクトアドベンチャー」の考え方や手法を取り入れ、三瓶の自然の中で体験を通して人と人が関わりを強め、生きる力と豊かな心を育み成長を促すプログラムです。

自分との対峙・挑戦、仲間への信頼・協力、成功体験・達成感など私たちの成長のため必要なことを仲間との体験の中で改めて気づかせてくれるプログラムです。

信頼を基とした人間関係の中で、成長のための「気づき」にあふれ充実した学校生活や社会生活を送れることをめざしています。

一斉実施可能人数	80名	活動季節・条件	通年
所要時間	半日～1日プログラム	実施場所	講堂・体育館・柔剣道場等及び周辺
主な対象	小学生～ (学年、クラス、部活動、サークル、グループ等)		
指導について	交流の家職員がファシリテーター(活動支援者)となり、グループにふさわしいアクティビティを体験行います。 プログラムの効果を発揮するためには、具体的なねらいやグループ情報が必要となります。		

活動の概略

- ①事前打合せ 担当者と共に、具体的なねらいやグループ情報をベースに、プログラム構成を考えます。
- ②用具受け取り 活動に応じて、必要なものを受け取ります。
- ③活動 参加者全員でアクティビティを体験します。交流の家スタッフが、ファシリテート(活動支援)します。
- ④ふりかえり 体験を通しての気づきや学びをふりかえり、日常化へと方向づけます。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

PAグッズや模造紙・マジックなど活動に必要なもの

利用者または団で準備する用具・材料

活動しやすい服装

当日の動き

- ①打合せ 活動時間、活動場所、プログラム内容を確認します。
- ②用具の受け取り 事務室にて、活動に必要な用具を受け取ります。
- ④活動(展開) スタッフと共に担当者も一緒になって体験します。
- ⑤ふりかえり 個々の学びをわかちあい、日常生活への関連づけを図ります。
- ⑥用具の片づけ 事務室まで、返却下さい。

安全対策・環境への留意点

野外セッションも実施する場合があります。活動しやすいシューズを準備下さい。

備考

- ・プログラム効果を、日常化へと結びつけていくためにも、実施・紹介したプログラム構成やアクティビティを参考に、日常生活の中での繰り返しの実践が必要となります。
- ・参加者が80人を超える場合には、交流の家までご相談ください。